

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月30日

計画の名称	板柳町における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	板柳町												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,344	A	1,344	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R02末)	最終目標値 (R04末)
1	下水道処理人口普及率を80.4%（H30当初）から88.7%（R04末）に増加させる。 下水道を利用できる人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	80%	83%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	灰沼地区幹線・枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						18	-	
	A07-002	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	赤田地区幹線・枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						448	-	
	A07-003	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	掛落林地区幹線・枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						544	-	
	A07-004	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	辻本泉地区枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						18	-	
	A07-005	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	-	設計等委託費	委託費	板柳町						211	-	
		種別2:全種																	
	A07-006	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	野中地区枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						75	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	板柳町	直接	板柳町	管渠(汚水)	新設	小幡地区枝線整備	污水管 150~200mm	板柳町						30	-	
											小計						1,344		
											合計						1,344		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
板柳町上下水道課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を実施した。	令和5年6月
	公表の方法 板柳町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成30年度から令和4年度の5年間で52.7haの整備を行い、下水道区域内普及率が80.4%から90.2%へ上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画の最終目標は達成したが、残りの未整備区域についても計画的に下水道整備を推進し、下水普及率を向上させることにより、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	88%
	最終実績値	90%

